Rinnai

浴室テレビセット

DS-501-SH

組立手順書

KS-DS501SH(00)J
111020

070 00012 46481 7

安全のために必ずお守りください。

〈表示マークについて〉特に注意していただきたいことを「警告」と「注意」に分類して表示しています。

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表わします。

⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定されることを表わします。

〈絵表示について〉お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

指　示 必ず実行していただく内容

一般的な禁止 してはいけない内容

⚠警告

必ず行う

■漏電遮断器の取付け
施工時は、必ず漏電ブレーカー（漏電遮断器）が設置されていることを確認し、非通電状態で電源処理を行ってください。

必ず行う

配線工事は関連する法令･規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電のおそれがあります。

⚠注意

必ず行う

■アンテナ配線の確認
浴室テレビ本体の取付位置まで、外部アンテナ線（同軸ケーブル 5C-FB 相当）が電気工事で配線されていることを確認してください。また、外部アンテナ線（同軸ケーブル 5C-FB 相当）の先端に、同梱の 5C 用 F 型接栓を取り付けてください。

必ず行う

■シリコン塗布
シリコンの塗布箇所には切れ目なく正しくシリコンを塗布してください。

必ず行う

■受信チャンネルの確認
ワンセグが受信できることを確認してください。
受信可能なチャンネルは地上波デジタルワンセグ放送（UHF　13～62ch）のみです。その他の放送は受信できません。

必ず行う

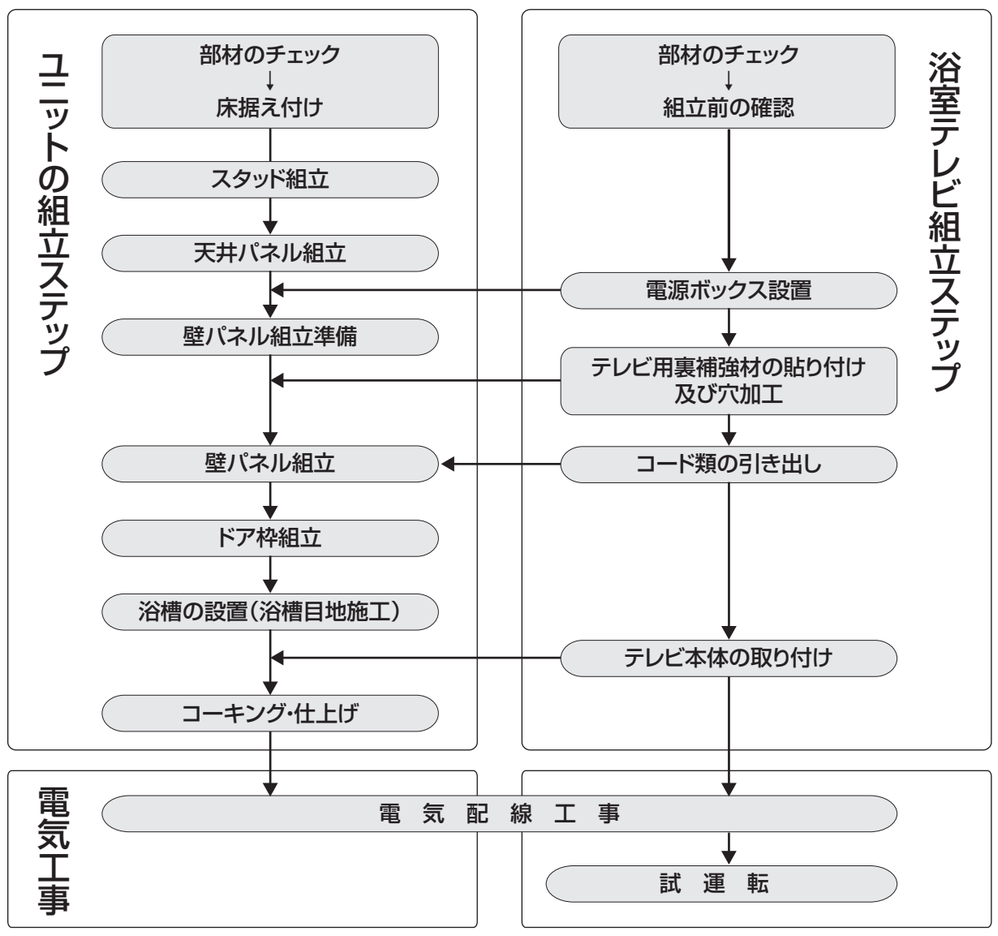
■取付位置確認
浴室テレビは指定された位置に正しく取付けてください。
- 室温が 0℃以下になるところや高温（50℃以上）になる場所には設置しないでください。画像の乱れや故障の原因となります。
- 浴室乾燥機のある浴室に取り付ける場合は、温風が直接あたらない場所をお選びください。
- 特殊薬品（ベンジンや油脂系の洗剤など）を使用する場所には設置しないでください。
- シャワーの水（お湯）や水しぶきが直接かからない場所を選んでください。
- 屋外から直射日光のあたる場所への取り付けは避けてください。
- 正面からテレビを見ることのできる位置に取り付けてください。
- 取り付けの際は、必ず屋内開閉器（ブレーカー）を設置してください。
- 浴室テレビおよび電源ボックスは屋内専用です。屋外には設置しないでください。

禁止

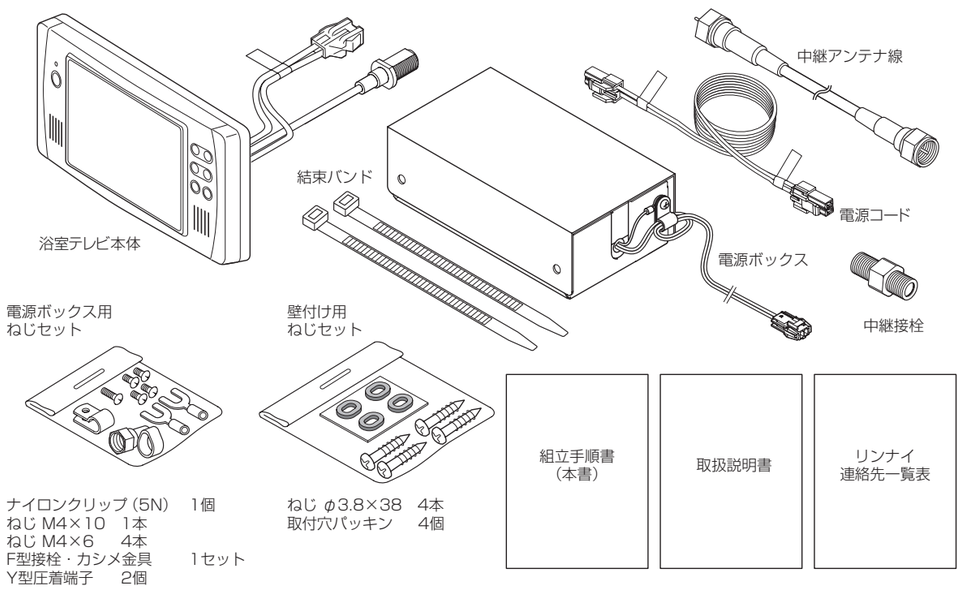
■取付時の取扱い
- 液晶破損の原因になりますので、強い衝撃を与えないでください。
- 誤って落下した製品は使用しないでください。水が浸入して発煙・発火・感電するおそれがあります。
- 音声スピーカーが内蔵されていますので、金属くずが付着しないように注意してください。音割れなどの原因になります。
- 製品の改造禁止

※本書はユニットバス工事完了後、必ず電気工事店様にお渡しください。

浴室テレビ組立手順フロー

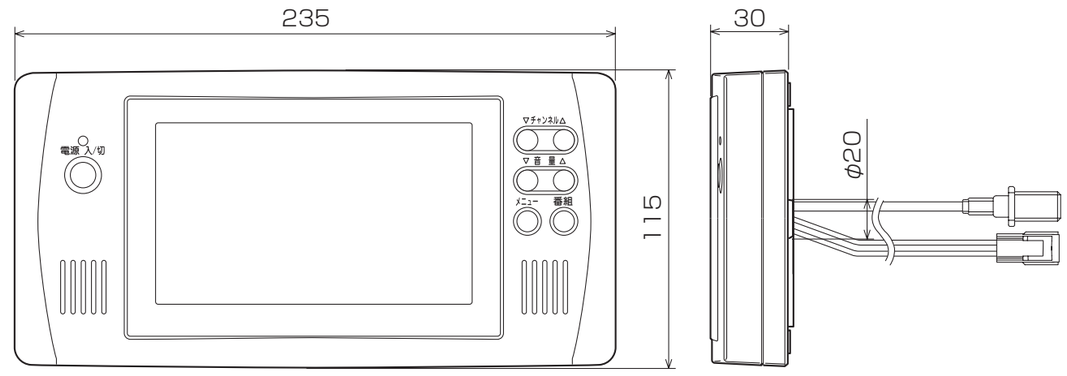


梱包部材



外形寸法図（標準設置図）

〔単位：mm〕

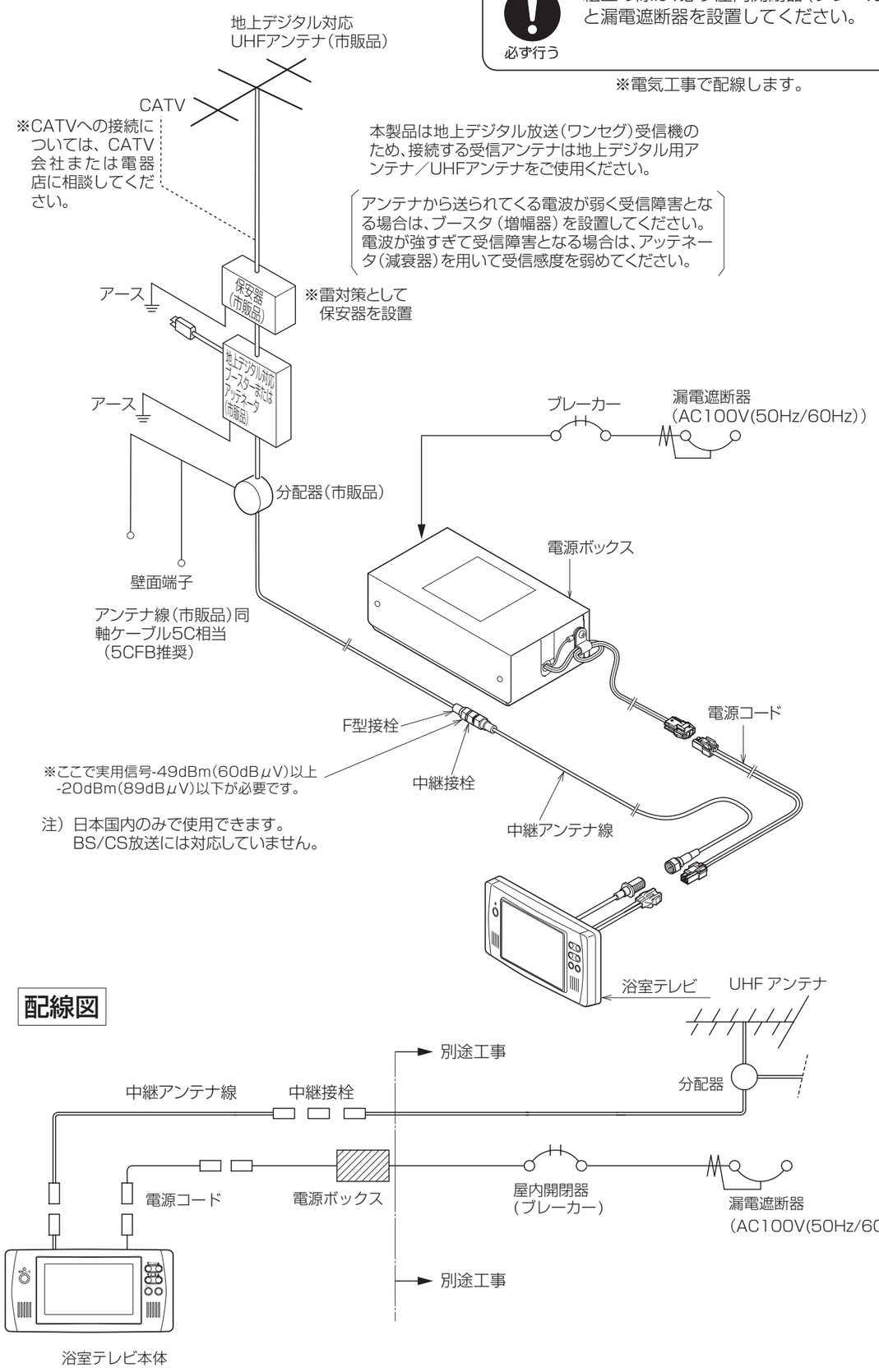


システム図・配線図

システム図

⚠注意
必ず行う
組立の際は、必ず屋内開閉器（ブレーカー）と漏電遮断器を設置してください。

※電気工事で配線します。

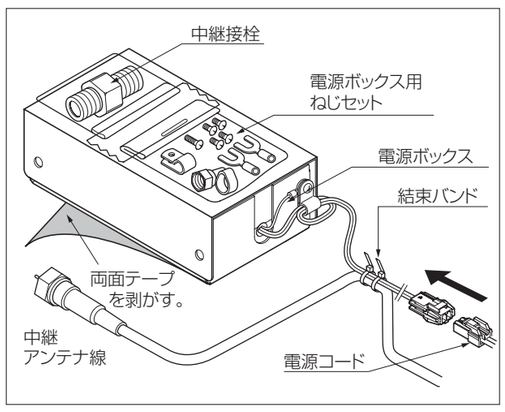


配線図

組立手順

組立手順①　電源ボックスの設置（天井パネル組立後）

①天井パネル組立後、電源ボックスを天井点検口の近くに設置します。
※電源ボックス下面の両面テープの台紙を剥がしてから天井裏面に貼り付け固定してください。



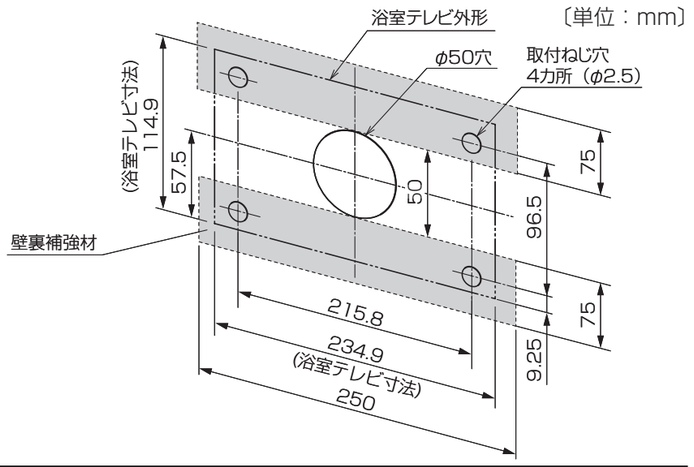
注）両面テープの貼り付け前に必ず天井パネル裏面貼り付け部のホコリ等を清掃してください。

②電源ボックスを設置後、電源コード･中継アンテナ線を接続し、テレビ本体を取付ける位置に垂らしておいてください。
③中継接栓･電源ボックス用ねじセットを電源ボックスにマスキングテープ等で貼り付けておいてください。
注）電源ボックスをグラスウール等の保温材で覆わないでください。
・ブレーカーを「切」にして取り付けてください。

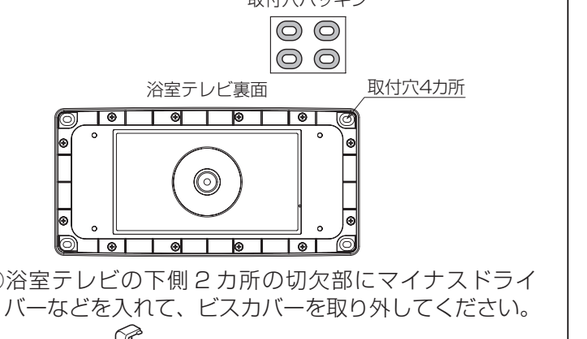
組立手順② 壁裏補強材の貼付と壁パネルの穴開け（壁パネル組立前）

①取付位置の確認
　事前に取付位置の確認をお願い致します。
②浴室テレビが取り付く壁面の裏に壁裏補強材を貼り付けます。
③取り付ける壁面にコード類取り出し用の穴１個と浴室テレビ取り付け用の穴４個をあけてください。

〔単位：mm〕

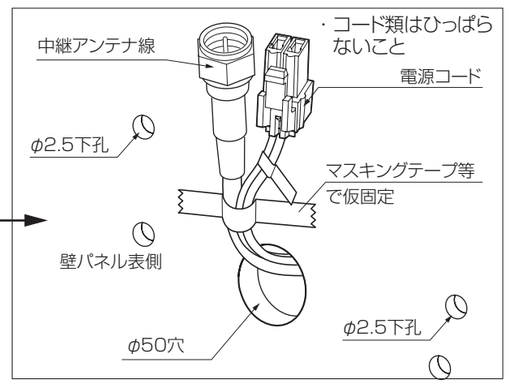


組立手順③ コード類の引き出し（壁パネル組立時）



①天井パネルから垂らしておいたコード類を壁パネルの裏側の開口部（φ50穴）から引き出します。

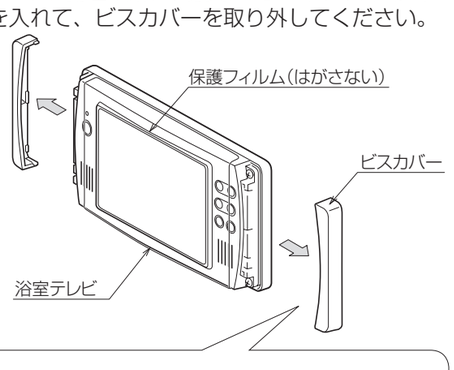
注）コード類は壁パネルから約30cm引き出し、浴槽設置の邪魔にならないように、マスキングテープ等で上向きに仮固定してください。



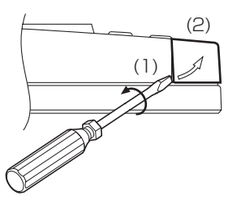
注）ここから先の工程は、浴室テレビの傷付きや破損を防ぐため、浴槽設置後に行ってください。

②浴室テレビ裏面の取付穴４カ所に、付属の取付穴パッキンを貼ってください。

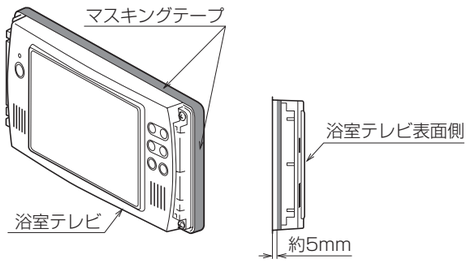
③浴室テレビの下側２カ所の切欠部にマイナスドライバーなどを入れて、ビスカバーを取り外してください。



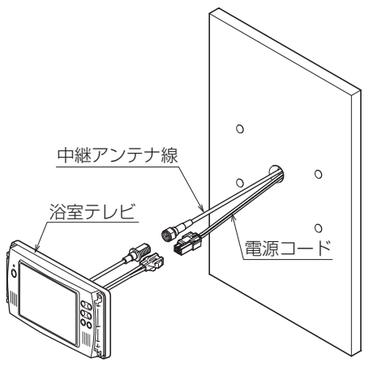
ビスカバー取り外し方法
先にマイナスドライバーを切欠部に差し込み、（1）のように回転させてロックを外します。次に手でビスカバーをつかみ、（2）方向に引っ張って外します。
キズがつかないように、注意してください。



④テレビ本体外周にマスキングテープを貼り付けてください。
※テレビ本体にキズを付けないよう、テレビ表面を養生して作業してください。

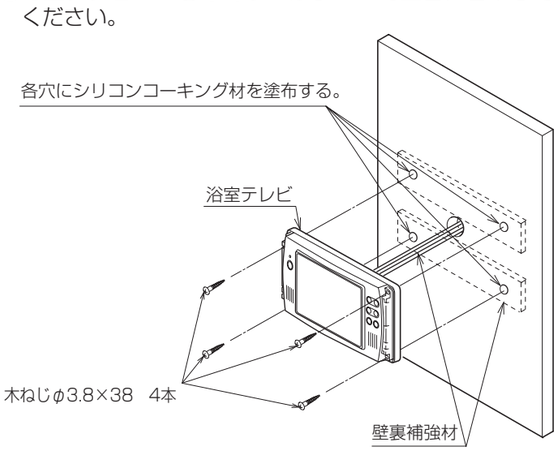


⑤浴室テレビ本体から出ているコード類を、①で取り込んだコード類と接続してください。接続後、各コネクタはφ 50 穴内部へ入れておいてください。

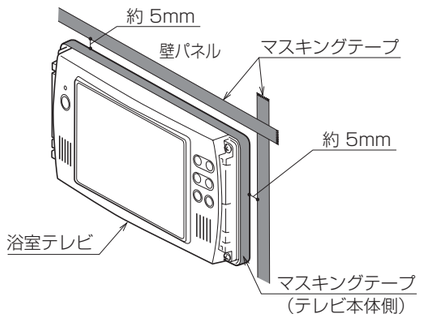


注）アンテナ線接続の際、同軸ケーブルの心線を曲げないように注意してください。

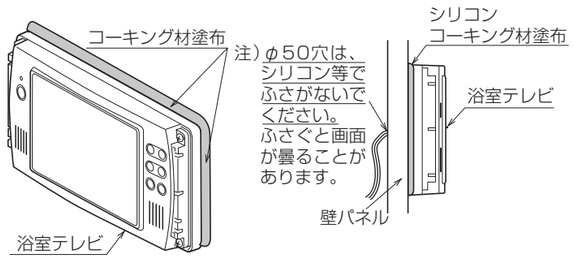
⑥浴室テレビ本体を付属の木ねじ４本で壁面に固定してください。



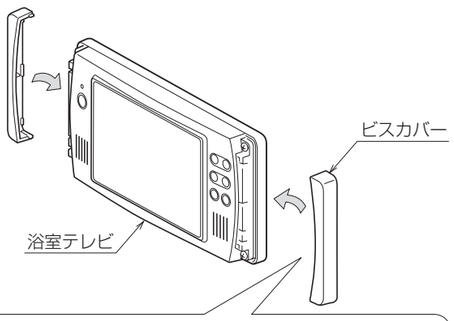
※取り付けは必ず手締めで行い、浴室テレビに傾きがないように取り付けてください。トルク規制ができるドライバー（ドライバードリル）の場合は 0.49N・m（5kgf・cm）以下のトルクで締め付けてください。
※スピーカーに金属くずが付着しないように注意してください。
⑦壁パネルにマスキングテープを貼り付けてください。



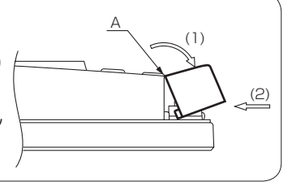
⑧浴室テレビ本体の回りにシリコンコーキング材を切れ目なく塗布してください。全周くまなく塗布されていないと、浴室テレビ裏面に水が浸入し配線の腐食による断線などの故障・不具合の原因になります。



⑨マスキングテープを除去してください。
⑩ビスカバーを取り付けてください。
　注）ビスカバーは左右非対称です。
　　ビスカバーの内側、浴室テレビ本体に「L」「R」の表示があります。同じ表示同士が組み合わさるように取り付けてください。

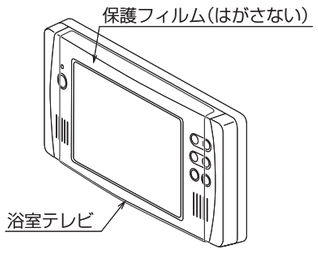


ビスカバー取り付け方法
先に A を支点にして（1）のように回転させます。
次に（2）の方向から押してロックさせます。



仕上げ、完成

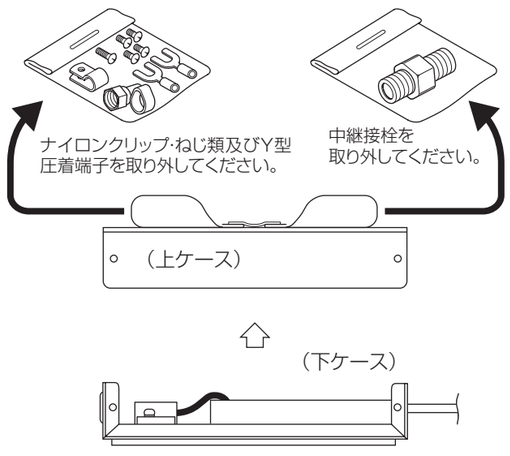
浴室テレビの取扱説明書、リンナイ連絡先一覧表をユニットバスの取扱説明書の袋の中に入れてください。
※本書は必ず電気工事店様にお渡しください。
※組立後、液晶画面に貼ってある保護フィルムははがさないでください。



電気工事店様／電源部接続工事に関してのお願い

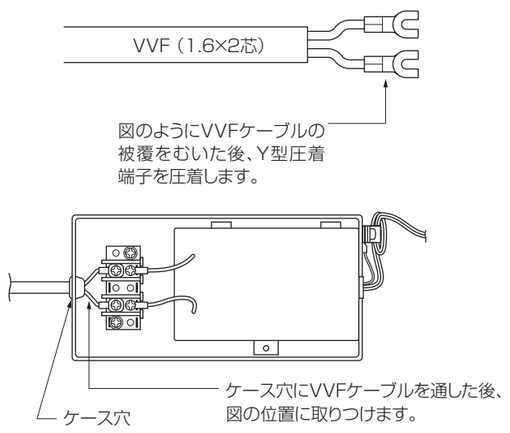
注）浴室ユニット組立直後に行うと、天井シリコンが切れたり、汚くなるおそれがあります。万一、直後に行う場合は、天井パネルに負荷を掛けずに行ってください。

①電源ボックスの上ケースを外します。

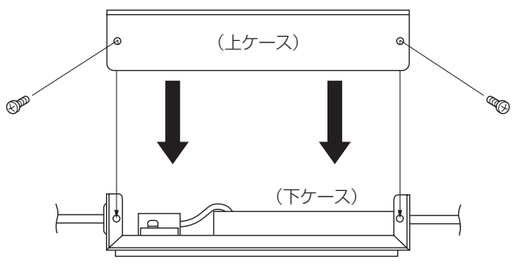


上ケースを外します。

② VVF ケーブルを接続します。

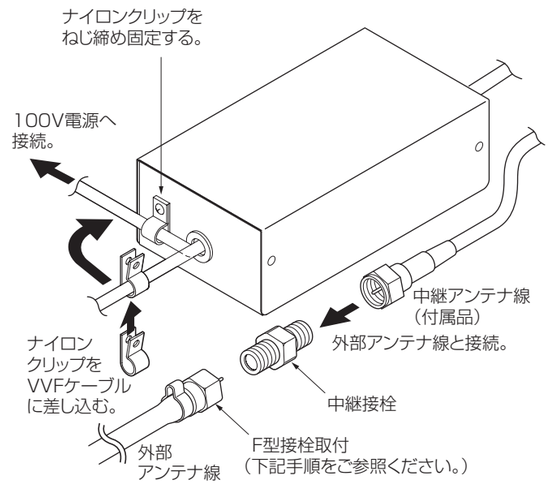


③電源ボックスの上ケースを取付けます。



上ケースをはめ込み、ねじで4箇所締め付けます。

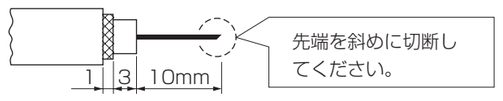
④ VVF ケーブルの固定と各コードの接続を行います。



F 型接栓の取り付け手順

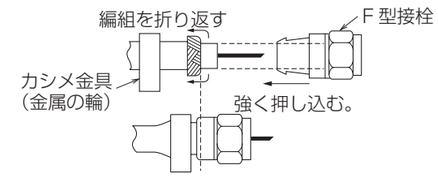
接触不良やショートを防ぐため、F 型接栓はていねいに取り付けてください。

①同軸ケーブル（アンテナ線）の被覆をはがし、心線を斜めに切断します。

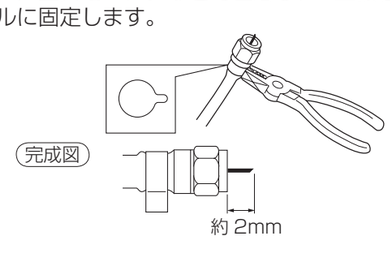


②同梱のカシメ金具をあらかじめ同軸ケーブルに差し込んでおきます。

③同軸ケーブルの編組部を折り返し、同梱の F 型接栓を同軸ケーブルに差し込みます。

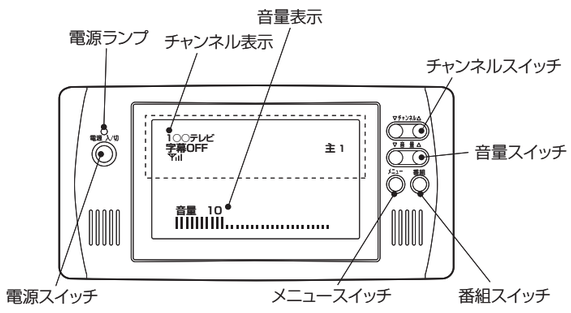


④カシメ金具をペンチなどで圧着し、F 型接栓を同軸ケーブルに固定します。



試運転

取扱説明書の内容に基づいて試運転を行い、正常に動作することを確認のうえ、お客様に使用方法を説明してお引き渡しください。
・屋内開閉器（ブレーカー）を「入」にして、次のことを確認してください。
①電源ボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認してください。画面に「テレビ起動中　しばらくお待ち下さい」と表示されたあと、「テレビチャンネルオート設定　もしくは　チャンネルサーチをしてください」が表示されることを確認してください。
②メニューボタンを押して、自動選局（テレビチャンネルオート設定）を行ってください。
　※自動選局には数十秒かかります。
　※自動選局後、放送局がチャンネルリストに登録され、リスト中一番小さい番号のチャンネル映像に切り替わります。
　※電波が弱く受信状態が悪い場合、放送局がチャンネルリストに登録されないことがあります。
　※自動選局を一度行ったあと、再度実施する場合は、「メニュー」→「チャンネル設定」→「テレビチャンネルオート設定」（メニューボタンを押し、チャンネルボタンの▲▼で選択、メニューボタンで決定）で行えます。
③番組ボタンを１秒以上押し、チャンネルリストを表示させて、受信可能なチャンネルが登録されているか、確認してください。
④メニューボタンを押し、テレビ画面に戻してください。
⑤チャンネルボタン▲▼を押して、チャンネル切り換えができることを確認してください。
⑥音量ボタン▲▼を押して、音量調整ができることを確認してください。
⑦電源ボタンを押して、電源が「切」になることを確認してください。



●お客様への説明
①取扱説明書に従って使用方法を説明してください。
　特に「安全上の注意」「使いかた」をよく説明してください。
②取扱説明書、リンナイ連絡先一覧表は必ずお客様へお渡しください。

使用ケーブル線について

- **心線の公称断面積が 0.5mm² より小さいケーブルは故障の原因となりますので使用しないでください。**
- **ケーブルは他の電気製品の電源コードと離して配線してください。洗濯機・冷蔵庫・衣類乾燥機などの電源コードと近接・並走配線すると、機器が動作しないことがあります。また、テレビ・ラジオ・ステレオなどの電源コードと近接して配線すると、テレビなどの画像・音声にノイズ（雑音など）が入ることがあります。**
- **ケーブルは直接熱の影響を受けないところに配線してください。**
- **ケーブルをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収めてケーブルに傷がつかないように保護してください。**
  ・メタルラスなどを有する壁を貫通する場合は、メタルラスなどと金属電線管が接触しないように十分距離を確保してください。

主な仕様

製品名・型式	浴室テレビ・DS-501-SH
外形寸法	235mm(幅) × 115mm(高) × 30mm(奥行)
本体質量	約 390g
使用温度範囲	0℃～ 50℃　（保存温度　－ 20℃～ 60℃ ）
受信感度・アンテナ部	実用感度　－ 49dBm（60dB μ V）
表示部	・画面サイズ　５型ワイド　幅 11.1 ×高 6.3/ 対角 12.7cm ・駆動方式　a-SiTFT アクティブマトリクス 線順次走査　ノンインターレース ・ドット構成　RGB ストライプ配列　・表示方式　TN 型フルカラー（透過型） ・視野角範囲　上 55 °　下 80 °　左右 45 °
バックライト	高輝度白色 LED
受信チャンネル	地上デジタルワンセグ放送　UHF　13～ 62ch （ワンセグ 2 サービス、データ放送、緊急警報放送受信非対応）
選局方式	プリセット順送り選局
スピーカー	φ 28 × 2　実用最大出力：0.4W+0.4W
消費電力	4.9W